

8

損益分岐点分析

1. 損益分岐点の意味

(1) 損益分岐点

損益分岐点(BEP: Break Even Point)とは、損失も利益も発生しない、損益の分かれ目のことをいい、具体的には「総収益 - 総費用 = ゼロ」となる点をいう。

(2) 損益分岐点の損益

損益分岐点分析の「損益ゼロ」とは、主たる営業活動(本業)の損益がゼロという意味である。よって、損益は「営業損益」を意味する。

損益分岐点売上高の計算では、先ず「営業費用」である「売上原価」と「販売費及び一般管理費」を「変動費と固定費」に分解して行う。

(3) 費用の分解

総費用は、次のように分解される。

変動費とは、売上高(操業度)の変動に対応して変動(変化)する費用をいう。一方、固定費は売上高(操業度)が変動しても変化せず、一定額発生する費用である。

売上原価の分解

売上原価は製造原価の変動費と固定費の比に対応して分解される。製造原価は費目別法により変動費と固定費に分けられる。

製造原価の内訳	変動費	固定費
・材料費		—
・労務費	—	
・経費		—
{ うち、外注費		—
減価償却費	—	
その他経費	1 / 2	1 / 2
計	V	F

販売費・一般管理費の分解

販売費・一般管理費の変動費・固定費は大体、次のように取扱われている。

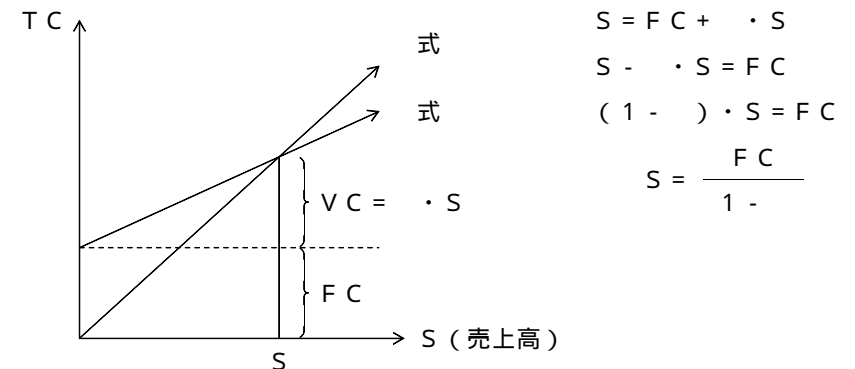
- ・変動費 販売手数料、貸倒引当金繰入など
- ・固定費 人件費、賃借料、減価償却費など

2. 損益分岐点売上高の計算式

損益分析点売上高(S)とは、総費用(TC = 売上原価 + 販管費)と等しくなる売上高である。

$$\begin{aligned} \text{売上高}(S) &= \text{総費用}(TC) \text{ ----- 式} \\ \text{総費用}(TC) &= \text{固定費}(FC) + \text{変動費}(VC) \\ &= \text{固定費}(FC) + \text{変動費率}(\quad) \cdot \text{売上高}(S) \text{ --- 式} \end{aligned}$$

よって、損益分岐点売上高(S)は、式、式を満たす売上高である。



$$\begin{aligned} \text{損益分岐点売上高} &= \frac{\text{固定費}}{1 - \frac{\text{変動費}}{\text{売上高}}} \\ &= \frac{\text{固定費}}{1 - \text{変動費率}} = \frac{\text{固定費}}{\text{限界利益率}} \end{aligned}$$

- * 売上高に占める変動費の割合を変動費率という。
- * 限界利益とは、売上高から変動費を差し引いたものである。
- * 限界利益率は、限界利益を売上高で除した値である。